

## サービス自己評価結果

調査年月日	令和7年3月26日		
配布総数	38名	回答者総数(%)	37名 (97%)

### ○調査結果

宝山寮の職員に自己評価を行ったところ、今年度は47項目中100%「はい」の回答はありませんでした。17項目で90%以上の職員が「はい」との回答があった。

低い評価として、理念・基本方針の項目の③の「理念や基本方針が利用者に周知されている。」、福祉人材の確保と育成の項目で、⑭の「必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取り組みが実施されている。」、地域との交流⑳の「地域の福祉ニーズ等に基づく事業・活動が行われている。」では、約2割の職員が「いいえ」「どちらともいえない」との評価であった。また、管理者の責任の項目では5%、の職員が無回答であった。自身が、管理職ではないので無回答にしたと思われる。

全体的に、「はい」の回答は減少し、「どちらともいえない」「いいえ」の回答は増加したので、評価が低かった項目について全職員に対して、内容を良く説明したうえで調査を実施する必要がある。

### ○良いと思う点

- ・安全管理の部で、⑲緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応等、利用者の安全確保のための体制が整備されている。と⑳利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。の項目で95%の職員が「はい」と回答している。緊急時の対応や利用者の安全確保のための体制や安全確保のためのリスクを把握し対策を行っていること。
- ・安心安全な福祉サービスと福祉サービスの質の確保の部では、10項目中8つの項目で92%以上の職員が「はい」と回答している。利用者に対するサービスの質が保たれている。
- ・利用者本位の福祉サービスの部で、㉓利用者満足の向上に取り組んでいる。と、㉕利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。の項目で、95%以上の職員が「はい」と答えた。他の問いにもほとんどの職員が「はい」と回答している。利用者本位のサービス提供と利用者の満足の向上に関する取り組みがしっかり行えていること。

### ○さらなる改善が望まれる点

- ・③理念や基本方針が利用者に周知されているかの問いで、「いいえ」3名。「どちらともいえない」6名の職員が回答している。利用者が集まる食堂や利用者玄関へ宝山寮の「理念」、「基本方針」を張り出したが、更にダイルームや作業棟などへ張り出し利用者へ説明していく。また、職員へも全体会議で印刷したものを配布する。
- ・㉑～㉔の「地域との交流」について、「いいえ」「どちらともいえない」と回答する職員が多かった。新型コロナウイルス感染症対策で、宝山寮の行事を利用者と職員のみで実施したり、地域の行事には参加できなかったためだと思われる。コロナ対策感染症の状況が一般的に改善し、宝山寮内の感染委員会で話し合い、

結果、従来通りに実施できるようになるのではないのか。